

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和元年10月～12月期の業況実績と、令和2年1月～3月期の見通しについて、管内686先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I. 推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
2020年(令和2年)の経営見通し	19

(注) 令和元年10月～12月を今期、令和元年7月～9月を前期、令和2年1月～3月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製 造 業	205	194	94.6	29.6
卸 売 業	29	29	100.0	4.4
小 売 業	205	195	95.1	29.8
サービス業	121	116	95.9	17.7
建 設 業	97	94	96.9	14.4
不 動 産 業	29	27	93.1	4.1
合 計	686	655	95.5	100.0

◆◆◆ 概 況 ◆◆◆

《 2019 年 10 月～12 月》

10 月から消費税増税がスタートしたが、小売業や卸売業などでは増税前の駆け込み消費に対する予想以上の反動減が見られた。一方で、今期の初めには15号、19号と続いた大型台風がもたらした大雨と風により、各地で甚大な被害が出るなど自然の猛威を痛感することとなった。当地区でも、北陸新幹線の120もの車両が水没するという予想もしなかった事態により運行が寸断されたことから温泉旅館等ではキャンセルが相次ぎ、本格的な秋の観光シーズンを迎えた当地区経済にとっては大きなマイナスの影響を与える結果となった。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和元年10月～12月）業況D.I.は、△9.5（前期△5.7）と悪化を示した。

地区内全体では、中国経済の減速からこれまで好況を牽引してきた製造業全体に陰りが見られるようになり、深刻な人手不足を抱える建設業や観光人口が減少したサービス業、増税後の反動減が影響した小売業が大幅に悪化を示した。卸売業では引き続き医薬品が好調を維持している。

地場産業では、中国圏向けスマホ部品の受注減に加え、自動車関連部品が低迷した電子部品・半導体製造業、新幹線運休に伴う入込客の減少の影響を受けた観光業の悪化が目立ったほか、木材業も悪化を示した。織布業全体では受注が冷え込み、繊維・雑品業については受注減が続いているが、一部サポーターなどの医療向けが堅調に推移している。建具製造業については安定した動きを維持しており、外国人観光客に需要が見られた漆器業は改善した。

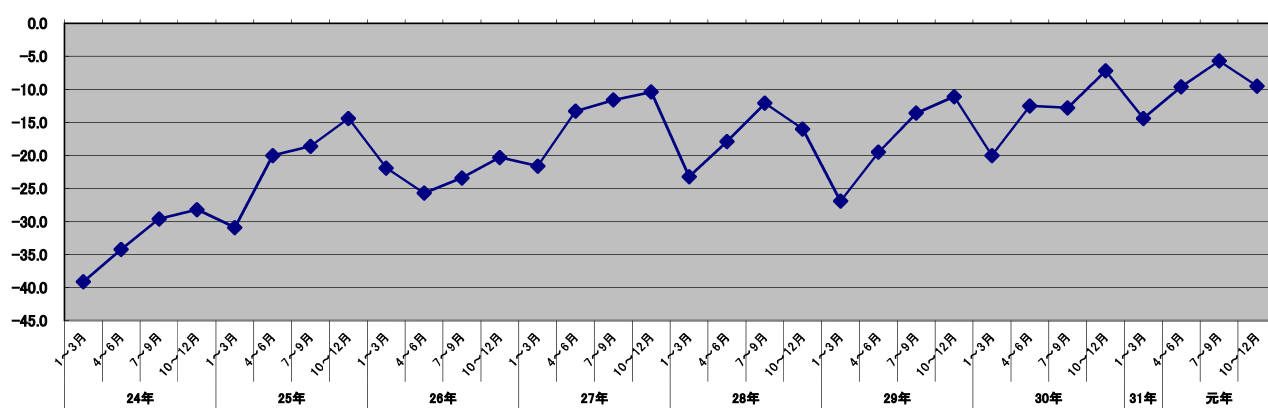
来期（令和2年1月～3月）の地区内における業況D.I.は、△11.6と更なる悪化を予想する。不動産業は活発な取引が続くと見られ、小売業も僅かに改善に転じると見ている。しかしながら、製造業を含めたその他の業種は悪化を予想している。

地場産業においても、例年この時期には受注が減少する縫製業やシーズンオフを迎える観光業は悪化を予想するが、引き続き漆器製造業や織布業は好調さを維持し、電子部品・半導体製造業は改善に転じると見ている。その他の業種は横ばいでの推移を見込んでいる。

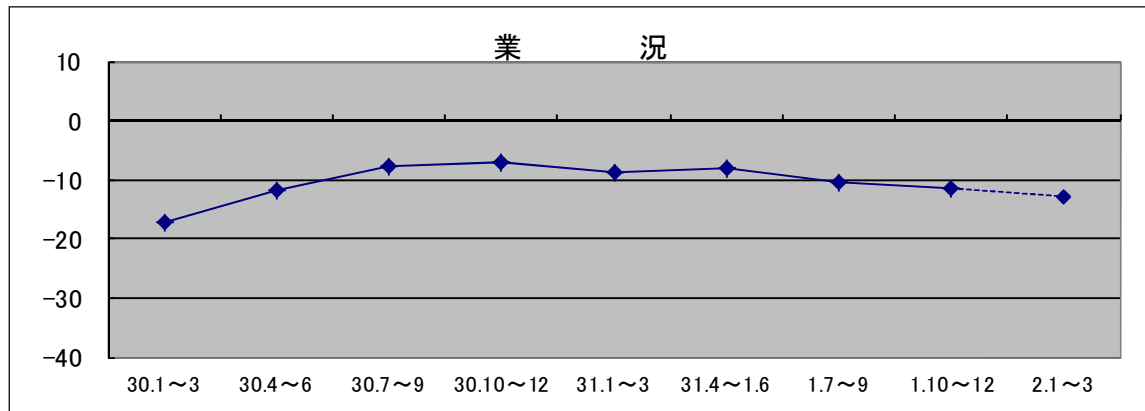
今期も去年と同様に暖冬が予想されているが、確かに年末にかけても冬らしからぬ天候が続いている。地球全体を見ても、温暖化の影響もあってか北極の氷が一年間で溶ける面積が日本の北海道の広さに匹敵しているという衝撃的な現状がある。一方で、北極圏はレアメタルやレアアースなどの希少金属類の宝庫であり、氷が解けることにより採取が容易になるという。確かに構造材への添加や電子・磁性材料への利用など、その価値が非常に高いことは事実であるが、昨今の夏場における猛暑や各地で発生する豪雨などの異常気象を思えば決して楽観的に考えることは出来ない。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H24年	1～3月	△ 39.1	H28年	1～3月	△ 23.2
	4～6月	△ 34.2		4～6月	△ 17.9
	7～9月	△ 29.6		7～9月	△ 12.1
	10～12月	△ 28.2		10～12月	△ 16.0
H25年	1～3月	△ 30.9	H29年	1～3月	△ 26.9
	4～6月	△ 20.0		4～6月	△ 19.5
	7～9月	△ 18.6		7～9月	△ 13.6
	10～12月	△ 14.4		10～12月	△ 11.1
H26年	1～3月	△ 21.9	H30年	1～3月	△ 20.0
	4～6月	△ 25.7		4～6月	△ 12.5
	7～9月	△ 23.4		7～9月	△ 12.8
	10～12月	△ 20.3		10～12月	△ 7.2
H27年	1～3月	△ 21.6	H31年	1～3月	△ 14.4
	4～6月	△ 13.3	R元年	4～6月	△ 9.6
	7～9月	△ 11.6		7～9月	△ 5.7
	10～12月	△ 10.4		10～12月	△ 9.5



製造業



【概 況】

今期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△11.3（前期△10.4）と悪化を示した。

一昨年来地区内の好況を牽引してきた製造業にも、中国経済の減速により昨年の秋口より陰りが見られるようになってきた。特に電子部品やデバイス製造の減速が著しい。それに伴い、人手不足も解消されてきており製造業全体の求人も減少傾向にある。

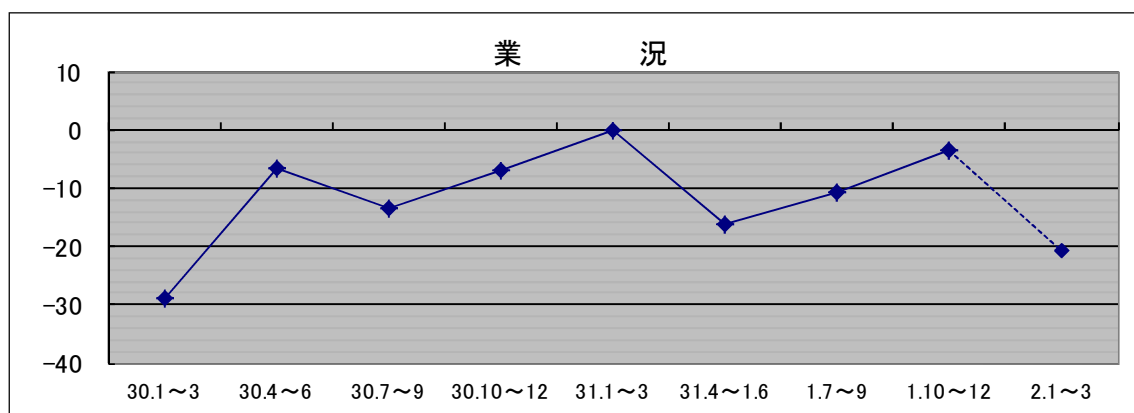
来期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△12.9と更なる悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△17.2	△11.8	△7.7	△7.0	△8.7	△8.2	△10.4	△11.3	△12.9
売 上	△17.2	△3.4	△1.0	△6.0	△12.8	△4.1	△5.2	△3.6	△10.3
収 益	△18.2	△9.4	△6.6	△8.5	△12.2	△4.6	△7.8	△8.8	△9.3
資金繰り	△9.1	△9.9	△6.6	△4.5	△2.6	△2.0	△9.8	△11.3	△10.8
人 手	△14.1	△8.9	△10.7	△11.6	△11.8	△11.2	△11.9	△8.2	△6.2
設 備	△7.6	△9.9	△4.6	△3.5	△4.1	△6.6	△6.2	△5.2	△5.2

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2 %	提携先を見つける	28.9 %
輸入製品との競争の激化	16.3 %	販路を広げる	20.3 %
利幅の縮小	6.9 %	経費を節減する	17.2 %

卸売業



【概 況】

消費税増税前の駆け込み消費に対する反動減で売り上げの減少が見られたものの、卸売業全体の今期（R 1.10月～12月）業況D.I.は△3.4（前期△10.7）と改善を示した。好調を維持している医薬品や建材分野が牽引している。売上げ、収益ともに改善を示したが、原材料の高騰に伴い仕入れコストが増加している。

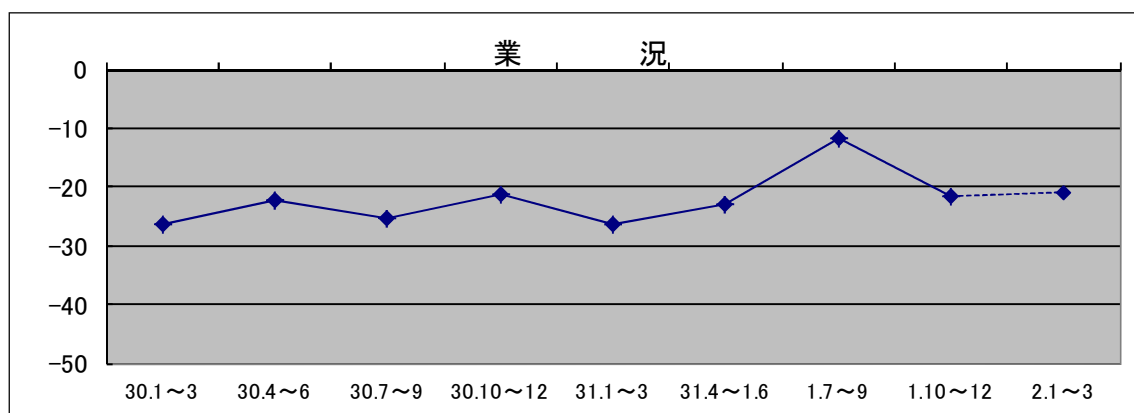
来期（R 2.1月～3月）の卸売業全体の見通しは、△20.7と悪化を予想する。特に仕入れコストの更なる高騰が収益を圧迫すると見ている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△29.0	△6.5	△13.3	△7.1	0.0	△16.1	△10.7	△3.4	△20.7
売 上	△25.8	0.0	0.0	△3.6	△3.3	△12.9	△21.4	△3.4	△27.7
収 益	△29.0	△3.2	△3.3	△10.7	△10.0	△19.4	△17.9	0.0	△24.1
資金繰り	△19.4	△9.7	△6.7	0.0	△6.7	△9.7	△14.3	△6.9	△10.3
仕入価格	16.1	12.9	10.0	0.0	6.7	△3.2	0.0	3.4	10.3
在 庫	0.0	3.2	3.3	△7.1	0.0	△3.2	3.6	3.4	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	15.4 %	提携先を見つける	29.7 %
売上の停滞・減少	14.1 %	経費を節減する	23.0 %
同業者間の競争の激化	12.8 %	販路を広げる	18.9 %

小売業



【概 況】

今期前半の消費税増税前の駆け込み消費の反動減や、台風による交通手段の乱れの影響からの入込客の減少を受け、小売業全般に売り上げの低迷が見られた。百貨店などでは化粧品や高額品にブレーキがかかり、自動車販売においても前年対比約3割減となった。結果、今期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△21.5（前期△11.6）と大きく悪化を示した。

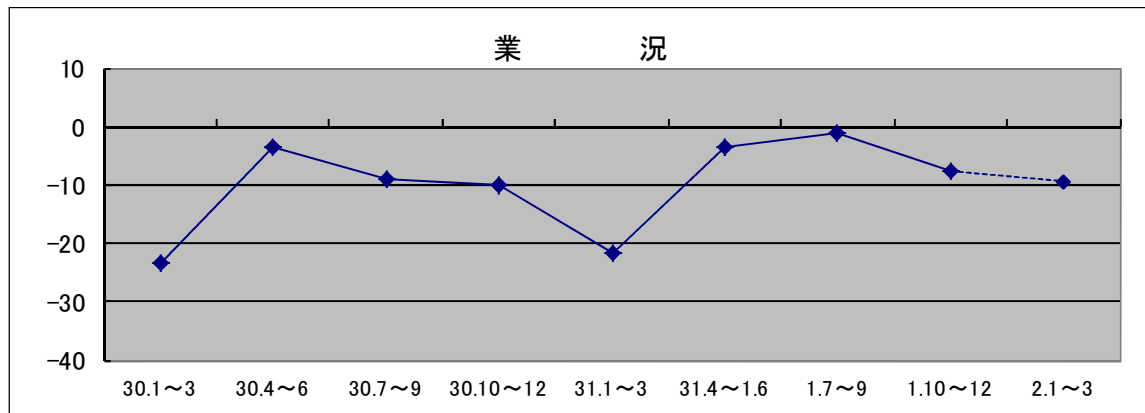
来期（R 2.1月～3月）業況D.I.については△21.0と僅かに改善を予想する。しかしながら、冬季を迎えることもあり厳しい状況に変わりはない。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△26.4	△22.2	△25.5	△21.2	△26.4	△22.9	△11.6	△21.5	△21.0
売 上	△29.5	△3.8	△9.5	△11.1	△16.1	△15.4	△2.1	△16.9	△14.9
収 益	△31.6	△5.3	△12.0	△11.1	△16.6	△15.4	△2.6	△16.9	△15.4
資金繰り	△19.2	△13.9	△17.5	△20.2	△16.6	△12.9	△11.1	△7.7	△8.7
販売価格	1.0	10.1	8.0	△2.0	△1.6	4.0	0.0	11.8	△1.5
在 庫	△1.6	1.9	1.5	3.0	5.2	1.0	5.8	2.6	△0.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.4 %	仕入先を開拓・選別する	29.7 %
地価の高騰	15.5 %	経費を節減する	20.9 %
商圈人口の減少	13.3 %	品揃えを改善する	11.5 %

サービス業



【概 況】

今期の前半は、台風19号による北陸新幹線運休の影響から観光客の減少に繋がり、温泉旅館や主要ホテルでは多くのキャンセルが出るなど大きな打撃を受けた。それに伴って飲食業や旅客運送業も低迷した。後半はやや持ち直したものの、結果、サービス業全体では今期（R 1.10～12月）業況D.I.は△7.8（前期△1.0）と悪化を示した。

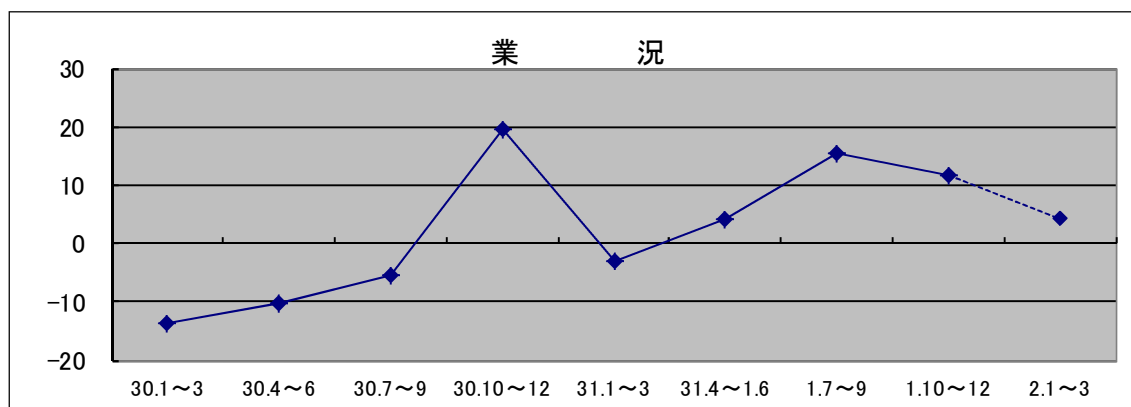
来期（R 2.1月～3月）のサービス業全体でのD.I.は、冬季に入り入込人口の減少が予想されることから△9.5と更なる悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△23.5	△3.4	△9.0	△9.9	△21.7	△3.4	△1.0	△7.8	△9.5
売 上	△26.1	5.9	△6.6	△17.4	△20.8	△4.2	△2.0	△9.5	△4.3
収 益	△29.4	3.4	△12.3	△12.4	△19.3	△5.9	△3.0	△11.2	△1.7
資金繰り	△20.2	△7.6	△5.7	△5.8	△13.3	△13.6	△6.9	△10.3	△9.5
料金価格	△5.0	2.5	0.0	△1.7	0.0	5.9	2.0	5.2	2.6
設 備	△6.7	△4.2	△4.9	△5.8	△8.3	△5.1	△5.9	△5.2	△1.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
代金回収の悪化	15.8 %	提携先を見つける	28.9 %
利幅の縮小	14.9 %	経費を節減する	16.4 %
売上の停滞・減少	14.6 %	販路を広げる	15.1 %

建設業



【概 況】

建設業における今期（R 1.1 0月～1 2月）の業況D.I.は1 1.7（前期1 5.4）と悪化を示した。特に住宅建設については、税制などの政策効果もあってか消費税増税前の駆け込みの反動による影響はそれほど大きくは無かったが、住宅メーカーによってはバラつきが見られた。しかしながら、業界全体を見ると、金沢市内でのホテル、マンションの建築ラッシュが止まることを知らず、天候にも恵まれ工事の進捗も順調で、業況は引き続き堅調に推移している。ただ、相変わらず人手不足は深刻な状況である。

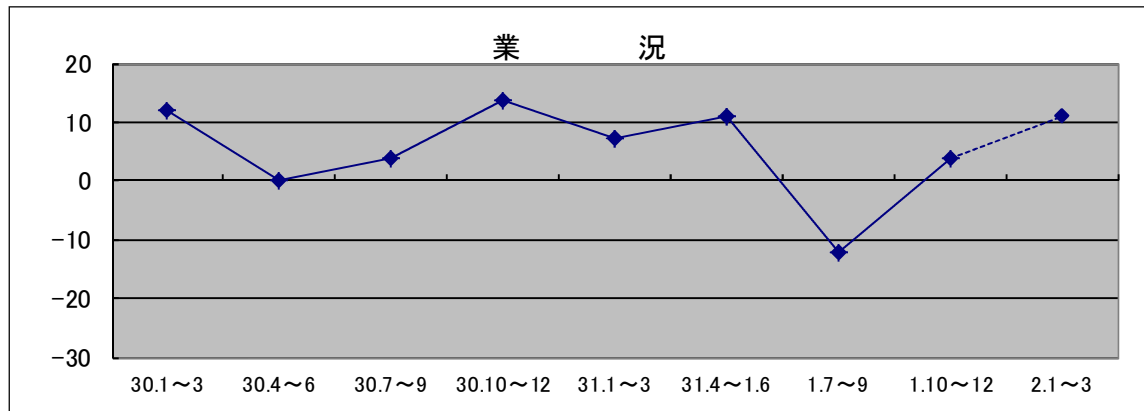
来期（R 2.1 月～3 月）の業況D.I.は△4.3と大幅な悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	平成 29 年	平成 30 年				平成 31 年（令和 1 年）			見通し
	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
業 況	△13.8	△10.1	△5.4	19.4	△3.2	4.2	15.4	11.7	4.3
売 上	△20.2	11.2	0.0	18.3	△10.8	6.3	15.4	13.8	△5.3
収 益	△21.3	△1.1	△3.3	11.8	△9.7	2.1	9.9	10.6	△2.1
資金繰り	△4.3	△1.1	△4.3	3.2	0.0	2.1	△2.2	2.1	△4.3
請負価格	1.1	4.5	△2.2	2.2	6.5	△4.2	1.1	11.7	4.3
人 手	△20.2	△10.1	△13.0	△20.4	△11.8	△23.2	△22.0	△25.5	△22.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	15.5 %	技術力を高める	25.8 %
売上の停滞・減少	12.1 %	経費を節減する	16.3 %
人件費以外の経費の増加	10.0%	販路を広げる	11.7%

不動産業



【概 況】

地区によっては景況感に大きな差が出ており、能登地区ではほとんど物件に動きは見られなかった反面、金沢市内及び近郊では活発な動きが見られた。新築マンションは次々と完売となり、相変わらずホテル建設用地物件の引き合いも見られた。

結果、今期（R 1.1 0月～1 2月）の業況D.I.は3.7（前期△1 2.2）と大きく改善を示した。

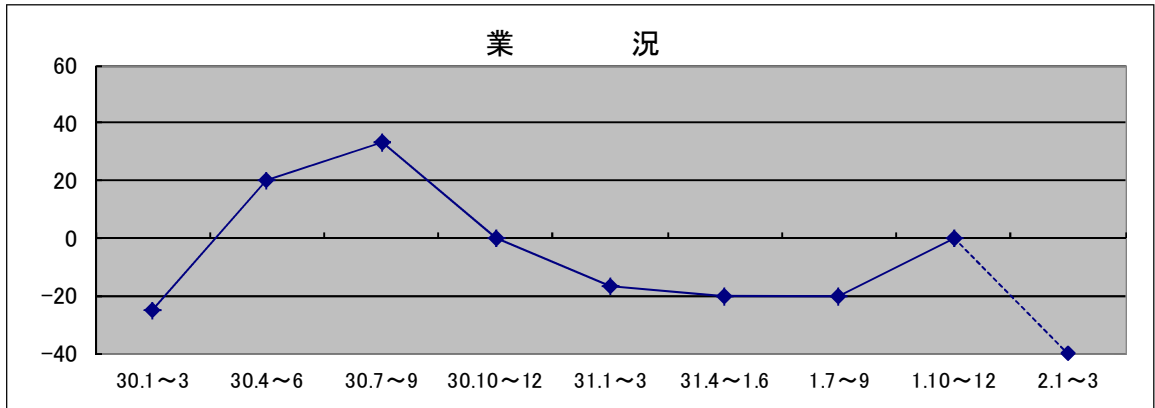
来期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は1 1.1と更なる改善を予想している。業界では、現況の動きが今しばらく続くとしているが、一方では在庫不足も懸念される。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	12.0	0.0	3.8	13.8	7.1	11.1	△12.2	3.7	11.1
売 上	4.0	15.4	0.0	13.8	7.1	7.4	△4.9	3.7	25.9
収 益	0.0	11.5	3.8	10.3	3.6	7.4	△7.3	3.7	22.2
資金繰り	△8.0	△11.5	△3.8	△6.9	△14.3	3.7	△7.3	3.7	0.0
販売価格	△4.0	7.7	7.7	10.3	3.6	14.8	9.8	11.1	14.8
在 庫	△4.0	△3.8	△3.8	△6.9	△18.5	0.0	2.4	△3.7	△11.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	45.7 %	提携先を見つける	19.5 %
売上の停滞・減少	28.6 %	販路を広げる	18.3 %
大手企業との競争の激化	20.0 %	経費を節減する	15.9 %

能登地区の縫製業



【概 況】

受注の安定と競合同業者の減少も相俟って、地区内における縫製業全体では期間を通して売上の増加、収益の改善、人手不足の解消が見られた。結果、今期（R 1. 1 0 月～1 2 月）の業況D.I.は0.0（前期△20.0）と大きく改善を示した。

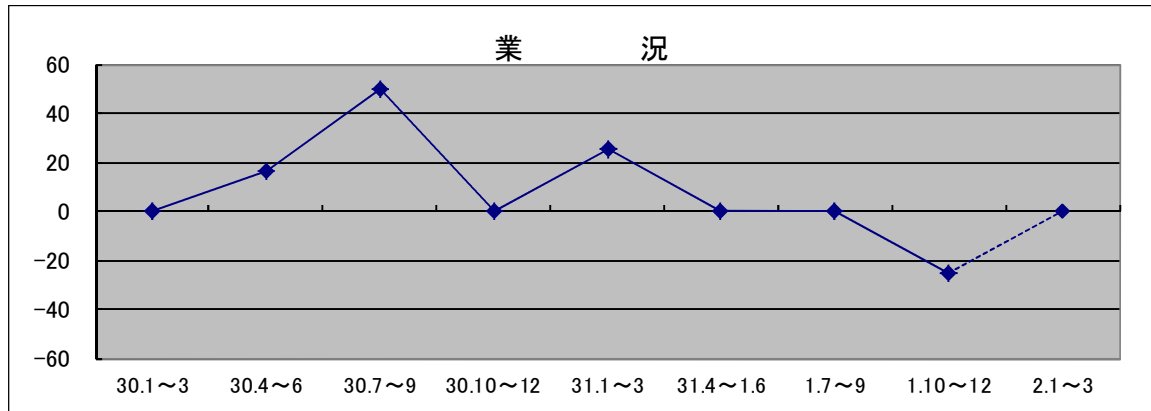
来期（R 2. 1 月～3 月）は業況D.I.を△40.0と大幅な悪化を予想している。例年、年明けからは受注が減少傾向を見せることが多いことからであるも、比較的やや楽観視する経営者も見られ、深刻な状況は窺えない。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△25.0	20.0	33.3	0.0	△16.7	△20.0	△20.0	0.0	△40.0
売 上	△25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	△40.0	20.0	△20.0
収 益	△25.0	0.0	0.0	20.0	0.0	△20.0	△40.0	0.0	0.0
資金繰り	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0
人 手	△50.0	△20.0	△66.7	△40.0	△33.3	△20.0	△20.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	30.0 %	経費を節減する	27.3 %
売上の停滞・減少	25.0 %	新製品・技術を開発する	18.2 %
人件費の増加	10.0 %	提携先を見つける	18.2 %

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

中国圏向けスマートフォン部品や自動車関連部品に受注減が見られた。結果、今期（R 1.1 0月～1 2月）業況D.I.については△25.0（前期0.0）と大きく悪化を示したものの、昨今着々と進む次世代通信網整備とそれに伴う関連商品開発が急がれる状況に大きく期待を寄せる経営者が多い。

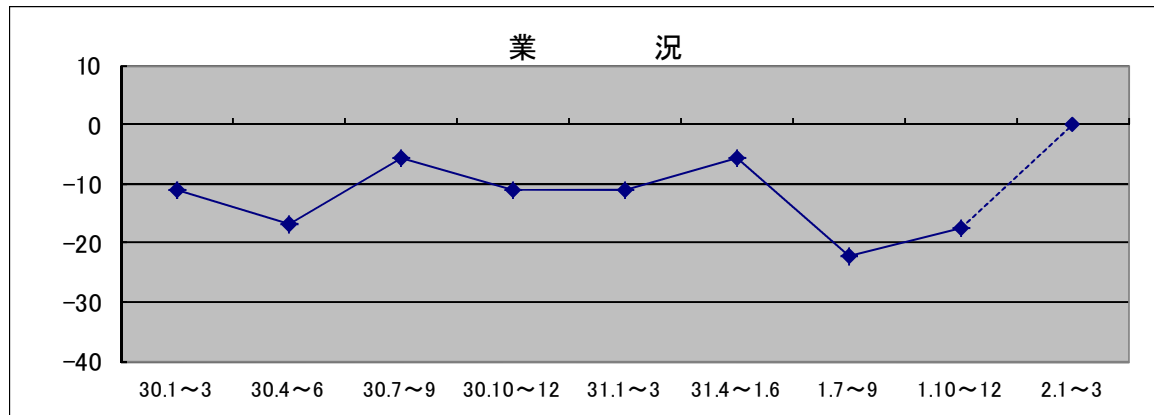
来期（R 2.1 月～3 月）の業況D.I.は0.0と大きく改善すると予想する。米中の摩擦がやや緩和されていることに好感を得て、中国経済の回復が見込まれるとされていることが窺える。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	0.0	16.7	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	△25.0	0.0
売 上	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	△33.3	△100.0	25.0	25.0
収 益	0.0	16.7	50.0	0.0	25.0	0.0	△100.0	0.0	0.0
資金繰り	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△50.0	△25.0	△25.0
人 手	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
設 備	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	25.0 %	提携先を見つける	25.0 %
売上の停滞・減少	25.0 %	工場・機械を増設・移転する	25.0 %
大手企業との競争の激化	8.3 %	経費を節減する	18.8 %

能登地区の漆器業



【概 況】

前半は各地における自然災害の影響もあって観光客の減少から売上が低迷したものの後半は持ち直し、インバウンド効果もあり高額商品について外国人観光客に需要が見られた。結果、今期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△17.6（前期△22.2）と改善を示した。

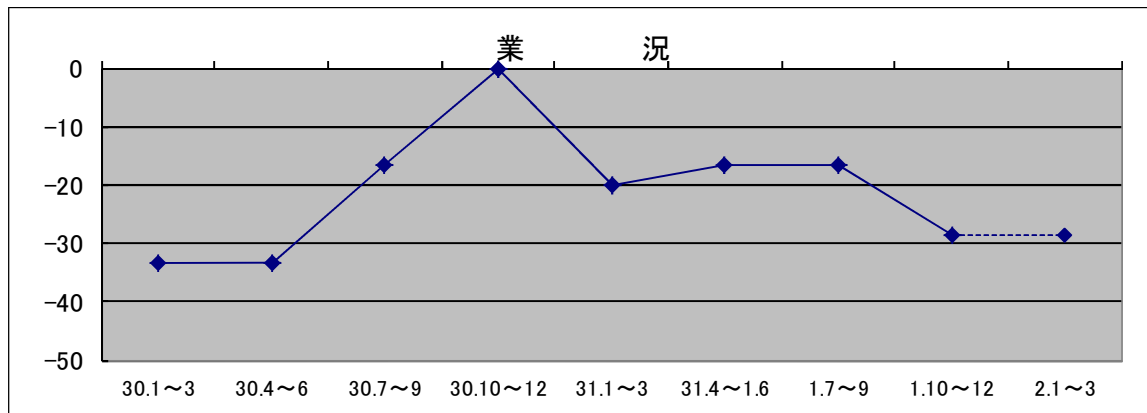
来期（R 2.1月～3月）は観光オフシーズンの冬季に向かう時期でもあるが、例年のような大きな落ち込みとはならず引き続き売上増加、収益増加が見込まれるとして、業況D.I.は0.0と更なる改善を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△11.1	△16.7	△5.6	△11.1	△11.1	△5.6	△22.2	△17.6	0.0
売 上	5.6	△11.1	11.1	△11.1	△5.6	△5.6	△5.6	0.0	5.9
収 益	△5.6	△11.1	11.1	△11.1	0.0	0.0	△11.1	0.0	5.9
資金繰り	0.0	△11.1	△5.6	0.0	0.0	△5.6	△38.9	0.0	0.0
人 手	△11.1	0.0	△11.1	0.0	△5.6	△11.1	△11.1	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	33.3 %	販路を広げる	20.0 %
輸入製品との競争の激化	23.8 %	提携先を見つける	20.0 %
同業者間の競争の激化	9.5 %	経費を節減する	8.0 %

能登地区の木材業



【概 況】

前年同月に比べ外材の入荷が大きく減少したことに加え、単価の下落から売上げが減少した。結果、今期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△28.6（前期△16.7）と大きく悪化を示した。

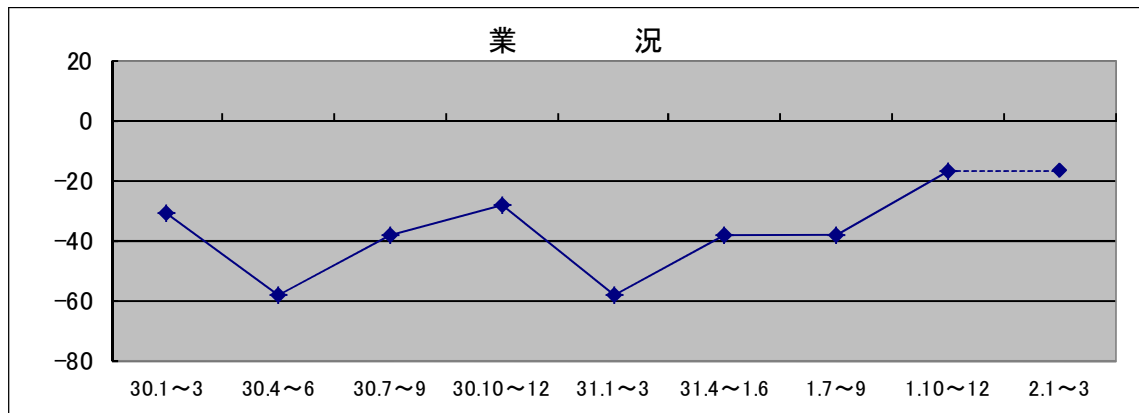
来期（R 2.1月～3月）については、業況D.I.は△28.6と横這いを予想するも、売上げ収益ともに大きく悪化すると見ている。しばらくは解消されていた人手不足についても再び深刻化してきている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△33.3	△33.3	△16.7	0.0	△20.0	△16.7	△16.7	△28.6	△28.6
売上	△16.7	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△42.9
収益	△33.3	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△42.9
資金繰り	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	16.7	△16.7	△16.7	△28.6	△14.3
人手	△16.7	△16.7	△33.3	△20.0	△16.7	0.0	0.0	△14.3	△14.3
設備	△16.7	△16.7	△16.7	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	33.3 %	提携先を見つける	35.0 %
輸入製品との競争の激化	27.8 %	経費を節減する	25.0 %
人件費の増加	11.1 %	販路を広げる	20.0 %

能登地区の建具業



【概 況】

冬季に向かっても気候が安定していることから、建設関連の工事の進捗が順調であり、受注が堅調に推移している。結果、今期（R 1.10月～12月）業況D.I.は△16.7（前期△38.5）と改善を示した。地区内の状況においては昨年の春先より安定した動きを見せている。

来期（R 2.1月～3月）の業況D.I.についても△16.7と横這いを予想する。

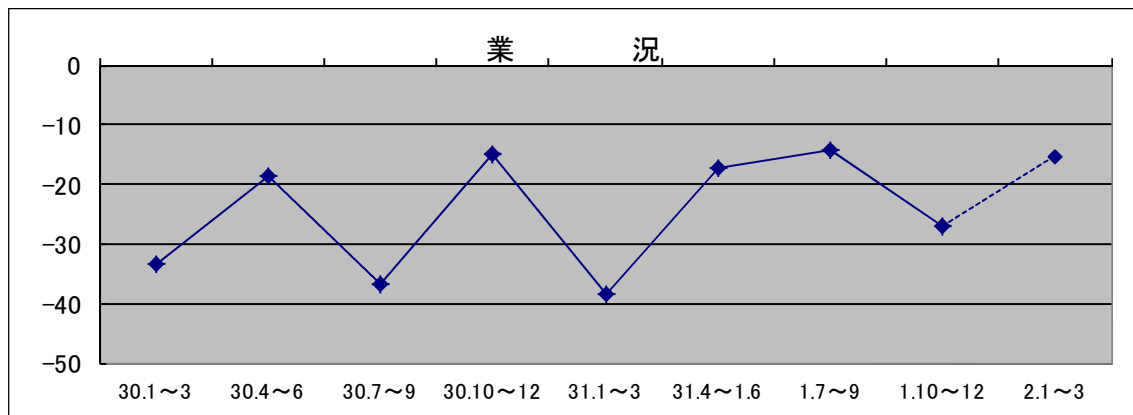
当地区の事業者においては、来春2月金沢で開催が予定されている全国大会に向け、展示用の新商品を製作中である。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△30.8	△58.3	△38.5	△28.6	△58.3	△38.5	△38.5	△16.7	△16.7
売 上	△38.5	△25.0	△30.8	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△16.7
収 益	△46.2	△16.7	△38.5	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△16.7
資金繰り	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	△15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	30.8 %	提携先を見つける	42.9 %
同業者間の競争の激化	25.6 %	販路を広げる	24.5 %
大手企業との競争の激化	23.1 %	経費を節減する	20.4 %

能登地区の織布業



【概 況】

昨年の春先から平均して受注があり改善傾向が続いていたが、秋口からは受注が冷え込んできており、当地区における織布業の今期（R 1.10月～12月）業況D.I.については△26.9（前期△14.3）と悪化を示した。

来期（R 2.1月～3月）のD.I.については△15.4と改善に転じると予想している。衣料向けというより、シートカバー向けなど自動車内装材分野に明るさが見られることから期待する事業者も多い。

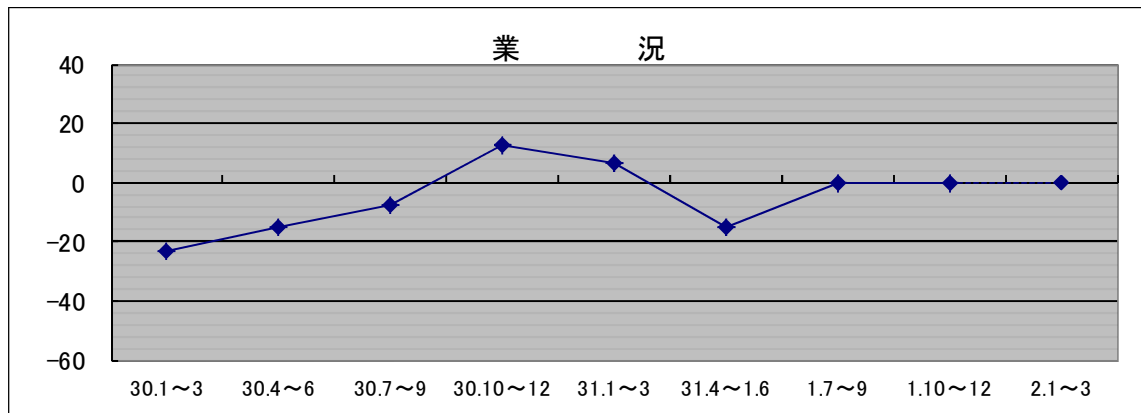
今期は受注減に伴いやや人手不足は解消してきているが、受注が復活した際には一転して深刻な人手不足が予想される。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△33.3	△18.5	△36.7	△14.8	△38.5	△17.2	△14.3	△26.9	△15.4
売 上	△33.3	△11.1	△30.0	0.0	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△3.8
収 益	△29.2	△11.1	△30.0	△3.7	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△3.8
資金繰り	△4.2	△3.7	△13.3	△11.1	△19.2	△6.9	△10.7	△15.4	△7.7
人 手	△12.5	△3.7	△10.0	△11.1	△3.8	△17.2	△17.9	△11.5	△11.5
設 備	0.0	0.0	△3.3	△3.7	3.8	△10.3	△7.1	△7.7	△7.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.0 %	提携先を見つける	29.0 %
輸入製品との競争の液化	23.5 %	販路を広げる	27.5 %
利幅の縮小	9.4 %	経費を節減する	10.1 %

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

地区内では特に、エンブレース業に近年にない受注の落ち込みが見られた。また、小ロットのため一か月先の受注も見えてこない状況となっている。一方で、特殊機能繊維のゴム入り細幅織物については、新商品開発やサンプル製造など今後の新展開も見込まれ安定した受注が続いている。結果、今期（R 1.1 0月～1 2月）業況D.I.は0.0（前期0.0）と横這いで推移した。

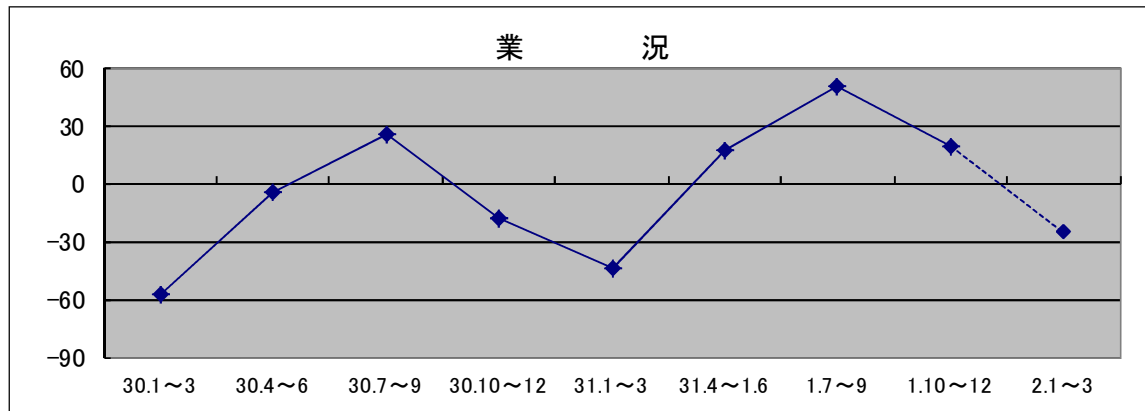
来期（R 2.1 月～3 月）の業況D.I.についても0.0と横這いでの推移を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30 年				平成31 年 (令和1 年)				見通し
	1~3 月	4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月	4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月
業 況	△23.5	△15.4	△7.7	12.5	6.7	△15.4	0.0	0.0	0.0
売 上	△17.6	15.4	△7.7	25.0	0.0	0.0	7.7	△7.1	△7.1
収 益	△17.6	15.4	△7.7	6.2	△6.7	△7.7	△7.7	0.0	△7.1
資金繰り	△29.4	△7.7	△15.4	△12.5	△6.7	0.0	△7.7	△7.1	△7.1
人 手	△23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2 %	販路を広げる	25.8 %
輸入製品との競争の激化	20.0 %	提携先を見つける	25.8 %
地場産業の衰退	8.9 %	経費を節減する	12.9 %

能登地区の観光業



【概 況】

観光シーズンを迎えたものの、前半の台風19号による北陸新幹線運休の影響もあり、後半やや持ち直したものの結果、今期（R1.10月～12月）の業況D.I.は18.8（前期50.0）と悪化を示した。売上げ減少に伴う収益の大幅な悪化が見られ、料金価格も大きく上昇した。また、各観光地への入込客数も年々減少傾向を見せている。

来期（R2.1月～3月）業況D.I.は、冬季の観光オフシーズンを迎え△25.0と大幅な悪化を予想しているも、例年に比べて落ち込みはやや少ないと見込んでいる。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△57.9	△4.5	25.0	△17.6	△44.4	16.7	50.0	18.8	△25.0
売 上	△47.4	36.4	45.0	△52.9	△38.9	44.4	57.1	△6.2	△18.8
収 益	△47.4	31.8	40.0	△47.1	△29.4	33.3	57.1	△6.2	△18.8
資金繰り	△42.1	△4.5	△10.0	△5.9	△16.7	△22.2	△7.1	0.0	△12.5
料金価格	△5.3	4.5	0.0	5.9	0.0	5.6	0.0	12.5	6.2
設 備	△10.5	0.0	△5.0	△5.9	△11.1	△11.1	△21.4	△6.2	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	22.7 %	経費を節減する	22.6 %
人手不足	13.6 %	人材を確保する	22.6 %
商圈人口の減少	11.4 %	宣伝・広告を強化する	19.4 %

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	うち所定外
30年 1月	1.97	137.1	10.0
30年 2月	2.02	143.9	10.1
30年 3月	1.97	148.1	11.0
30年 4月	1.98	153.4	11.4
30年 5月	1.96	143.5	10.0
30年 6月	1.99	154.9	10.8
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5
30年 11月	2.06	154.6	11.3
30年 12月	2.07	147.6	10.4
31年 1月	1.99	133.4	9.5
31年 2月	1.95	142.5	10.0
31年 3月	1.91	143.5	10.3
31年 4月	1.95	148.8	10.4
1年 5月	1.88	137.1	9.7
1年 6月	1.97	148.0	9.8
1年 7月	2.00	150.3	9.8
1年 8月	2.03	141.8	9.4
1年 9月	2.00	146.0	10.2
1年 10月	1.92	146.5	10.1

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
30年 1月	102.0	2.1
30年 2月	102.0	2.0
30年 3月	101.9	1.9
30年 4月	101.8	1.2
30年 5月	102.1	1.1
30年 6月	101.9	1.1
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0
30年 12月	102.2	0.4
31年 1月	102.0	0.0
31年 2月	101.9	-0.1
31年 3月	102.5	0.6
31年 4月	102.9	1.1
1年 5月	102.9	0.8
1年 6月	102.4	0.5
1年 7月	102.3	0.3
1年 8月	102.8	0.1
1年 9月	102.7	0.2
1年 10月	103.3	0.4
1年 11月	103.2	0.7

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
30年 1月	126	1,521	18,706	129,159
30年 2月	162	1,288	18,345	126,816
30年 3月	214	2,081	17,811	124,582
30年 4月	199	1,734	17,497	122,421
30年 5月	264	2,021	17,252	120,483
30年 6月	328	2,606	16,975	118,645
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698
30年 12月	282	2,345	15,640	110,858
31年 1月	184	2,429	15,480	109,852
31年 2月	254	2,061	15,311	109,014
31年 3月	303	2,902	15,003	107,844
31年 4月	266	2,305	14,870	107,380
1年 5月	265	2,147	14,723	106,560
1年 6月	318	2,501	14,563	105,931
1年 7月	315	3,079	14,403	105,560
1年 8月	291	2,371	14,280	105,204
1年 9月	307	2,493	14,167	104,868
1年 10月	253	1,899	14,016	104,188
1年 11月	292	3,129	13,873	103,849

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
29年 12月	3	64
30年 1月	5	137
30年 2月	8	1,724
30年 3月	8	851
30年 4月	2	20
30年 5月	5	497
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561
30年 12月	2	36
31年 1月	9	571
31年 2月	5	1,931
31年 3月	5	364
31年 4月	6	109
1年 5月	7	415
1年 6月	7	107
1年 7月	9	281
1年 8月	6	591
1年 9月	8	417
1年 10月	5	414
1年 11月	5	601

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
29年 12月	82	14,987	538	51
30年 1月	77	15,477	480	44
30年 2月	117	33,595	520	52
30年 3月	86	16,297	578	59
30年 4月	131	24,775	665	66
30年 5月	130	27,119	623	61
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66
30年 11月	128	22,801	660	69
30年 12月	89	15,101	606	54
31年 1月	78	16,724	490	47
31年 2月	91	17,691	727	74
31年 3月	116	24,600	732	76
31年 4月	162	30,811	782	75
1年 5月	103	17,880	569	59
1年 6月	120	21,572	1,001	86
1年 7月	97	19,022	689	62
1年 8月	113	22,725	612	60
1年 9月	100	15,630	598	57
1年 10月	97	17,816	745	66

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
29年 12月	377	6,783
30年 1月	242	4,295
30年 2月	222	7,073
30年 3月	195	8,793
30年 4月	477	60,033
30年 5月	310	17,948
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年 10月	545	13,762
30年 11月	466	7,732
30年 12月	370	6,427
31年 1月	113	10,977
31年 2月	513	7,774
31年 3月	229	8,061
31年 4月	447	51,963
1年 5月	437	28,033
1年 6月	545	14,207
1年 7月	628	19,993
1年 8月	426	10,617
1年 9月	506	15,203
1年 10月	538	15,128
1年 11月	421	8,984

資料:東日本建設業保証㈱(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
29年 12月	2,582	1,384
30年 1月	2,395	1,524
30年 2月	3,223	1,759
30年 3月	6,047	3,069
30年 4月	2,545	1,539
30年 5月	2,702	1,464
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884
30年 12月	2,573	1,361
31年 1月	2,400	1,506
31年 2月	3,547	1,905
31年 3月	5,850	2,901
31年 4月	2,511	1,570
1年 5月	2,731	1,608
1年 6月	3,271	1,780
1年 7月	3,505	1,701
1年 8月	2,563	1,601
1年 9月	3,702	2,183
1年 10月	2,037	1,322
1年 11月	2,618	1,401

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
30年 1月	58,721	7,000
30年 2月	56,352	7,600
30年 3月	77,271	8,700
30年 4月	60,206	11,800
30年 5月	67,787	16,300
30年 6月	63,858	12,900
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300
30年 12月	74,360	10,800
31年 1月	54,447	9,200
31年 2月	60,461	9,700
31年 3月	74,459	12,100
31年 4月	58,625	13,200
1年 5月	63,596	16,700
1年 6月	60,805	13,300
1年 7月	58,182	14,100
1年 8月	92,608	20,700
1年 9月	65,094	14,600
1年 10月	67,084	15,400
1年 11月	80,191	16,800

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

(千㎡)

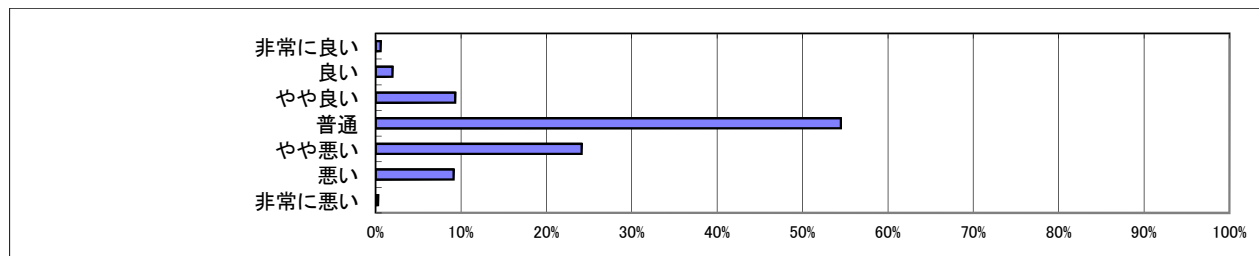
	合計
30年 1月	20,715
30年 2月	20,716
30年 3月	23,332
30年 4月	21,367
30年 5月	21,041
30年 6月	22,518
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621
30年 11月	22,945
30年 12月	21,010
31年 1月	21,040
31年 2月	21,580
31年 3月	23,248
31年 4月	22,002
1年 5月	22,017
1年 6月	22,592
1年 7月	23,924
1年 8月	20,338
1年 9月	22,278
1年 10月	24,547

資料:石川県企画開発

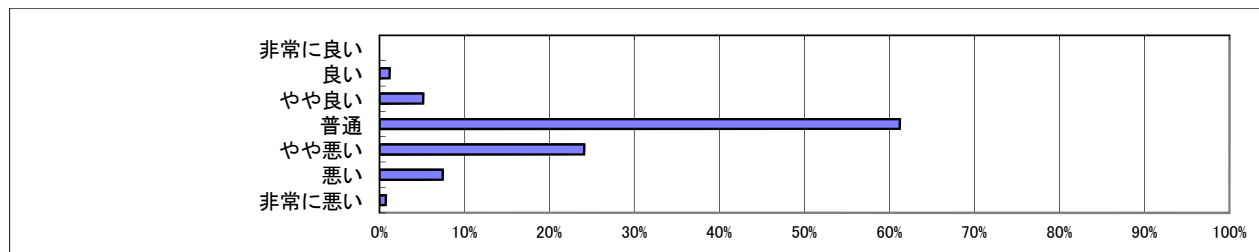
【2020年（令和2年）の経営見通し】

特別調査

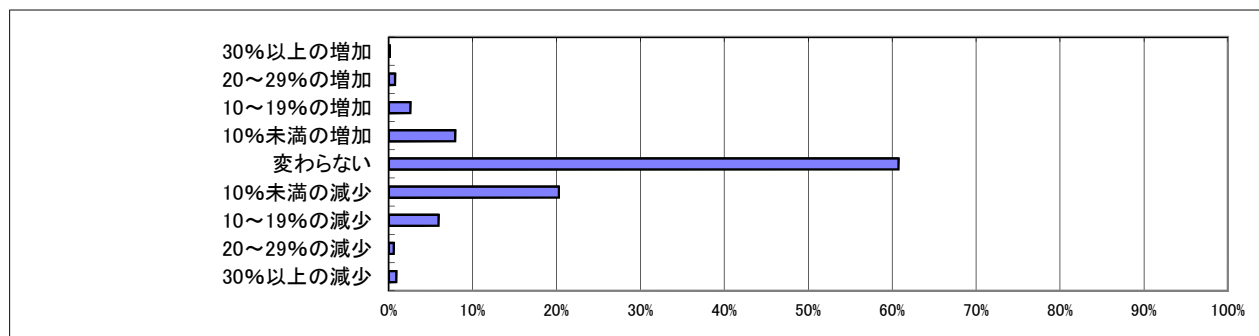
問1. 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。



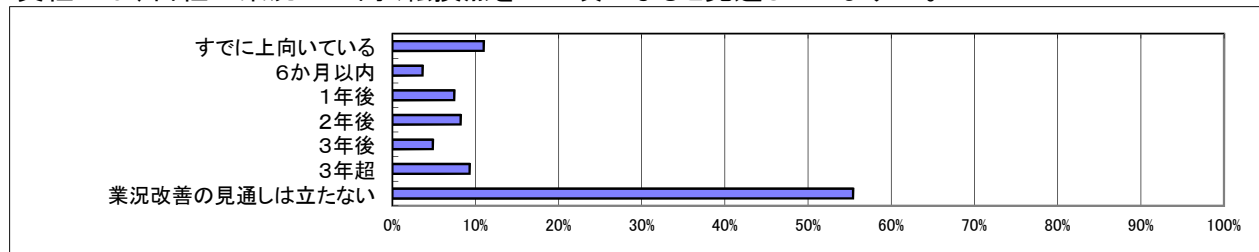
問2. 2020年の貴社の業況（景気）をどのように見通していますか。



問3. 2020年の売上額の伸び率は、2019年に比べてどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 10月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。

